OI-Start × BeLive

高校教員 生成AIを活用し、「高校現場」や「ビジネス環境」のDX化を考えよう! 高校生 大学生 DX AI

DX化の第一歩

生成AIを活用したDX化による課題解決の方法が学べます!

岡山大学DS部がサポート致します!

対象者
高校生、大学生
教育関係者、
企業

イベント概要（予定）

探究活動の一環として高校生と地元中小企業が生成 AI を活用した DX 化による課題解決の方法を学ぶイベントを開催します。このイベントを通じて、高校生や地元中小企業が DX 化を基盤とした課題解決に貢献できるスキルを身につけ、デジタルイノベーションの創出と社会実装への関心を高めることを目的とします。

内　容（予定）

- 生成AI・DXについて
- 課題の創出（アイディア出し、ディスカッション）
- 生成AIを活用した課題解決　など

タイムスケジュール

9：00～ 9：25	受　付
9：30	開　会
9：40～11：45	ハンズオンセミナー
11：50～12：55	昼休憩
13：00～16：00	グループワーク（アイディア出し、作品づくり）
16：00～16：25	全体共有
16：30	閉　会

- ●日　時：2024 年 8 月 8 日（木）9：30 ～ 16：30（受付：9：00 ～）（予定）
- ●場　所：岡山大学　津島キャンパス　自然科学研究科棟　2 階 大講義室
- ●対象者：高校生、大学生、教育関係者、企業
- ●準備物：Chromebook もしくはノート PC、電源アダプター、google アカウント（gmail アドレス）
- ●昼　食：昼食は各自ご用意ください。大学内外の売店・食堂もご利用いただけます。
- ●駐車場：大学構内のパーキング利用可能。（無料駐車券をお渡しします。）
  ※パーキングにつきましては、所定の場所に駐車ください。

参加費無料

お申込

お一人様ずつお申込をお願いします。7 月 12 日（金）～ 8 月 6 日（火）までの期間中に web サイト申込専用フォームよりお申込いただけます。　webサイト https://www.kwp.co.jp/oistart/

〔お問合わせ先〕〒 700-0942 岡山市南区豊成 3-18-7（株）i プランニング KOHWA
事務局：担当 中谷　TEL：086-264-5888　FAX：086-262-1525　E-mail：belive@kwp.co.jp

主催：おかやまデジタルイノベーション創出プラットフォーム(OI-Start)　共催：BeLive実行委員会　運営：株式会社 i プランニングKOHWA
協力団体：岡山大学DS部、岡山大学研究協力会、DXサンライズおかやま、高校生アントレプレナーコミュニティ オレンジ

アクセスマップ

JR：津山線「法界院」駅→大学まで徒歩

JR 岡山駅 → 岡電バス

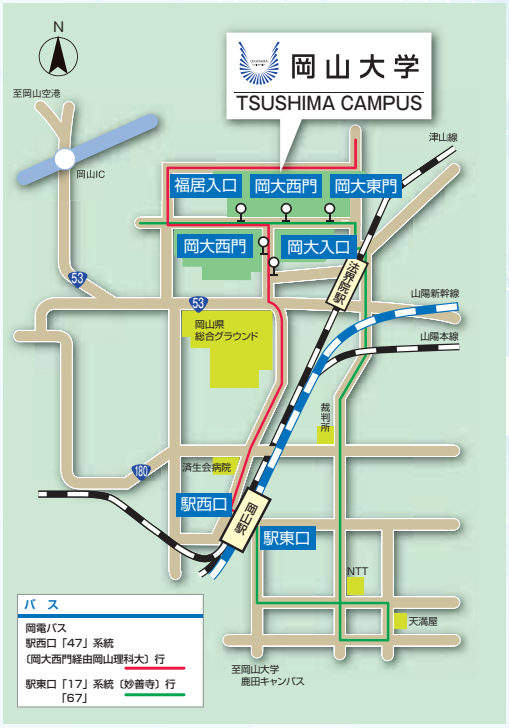
・岡山駅運動公園口（西口）バスターミナル 22 番乗り場から【47】系統「岡山理科大学」行きに乗車**「岡大西門」**で下車

・岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル 13 番乗り場から【17】【67】系統「妙善寺」行きに乗車**「岡大東門」**で下車

・岡山駅後楽園口（東口）バスターミナル 7 番乗り場から【16】系統「津高台団地・半田山ハイツ」行き、【26】系統「岡山医療センター国立病院」行き、【36】系統「辛香口」行き、【86】系統「運転免許センター」行きに乗車**「岡山大学筋」**で下車→大学まで徒歩

山陽自動車道

・山陽自動車道「岡山 IC」下車、岡山駅方面へ国道 53 号線を南下し、岡山大学筋交差点を左折で到着します。



おかやまデジタルイノベーション創出プラットフォーム (OI-Start) とは

産学官が連携してデジタル技術を活用したイノベーションを創出し、その実践を通じて創出に貢献する人材を育成することで、岡山県内の企業等の生産性や魅力向上、若者の県内定着・還流を推進することを目的として、岡山県が新たに OI-Start（オーアイ・スタート）と呼ぶプラットフォームを岡山大学に設置しました。イノベーションの対象は、自動車などのものづくりから、サービス、デザイン、AI/IoT/ セキュリティなど多岐にわたります。

OI-Start web

OI-Start とは

多様なプレイヤーによる協働によりイノベーションを創出するためのプラットフォーム

OI-Start の目的

・産学官連携によるデジタル技術を活用したイノベーションの創出
・企業等の生産性や魅力向上、若者の県内定着・還流を推進

BeLive プロジェクトとは

「BeLive」は、高校生の持つ柔軟な発想と岡山に根差す、企業・団体の力を掛け合わせた SDGs の取組・発表を通じ、岡山の新しい未来を創造するプロジェクトです。今年度もプレゼンテーションイベントまでにサブイベントを複数開催し、高校生・教員と企業が関わり合う機会を設け、ともに SDGs に関する課題に挑むことをサポートします。

BeLive web